

結核患者の集団発生について

相模原市内の医療機関（病院）において、結核患者が発生し、患者と接触のあった関係者を対象に接触者健康診断を実施した結果、結核発病者 3 名、結核感染者 8 名を確認しました。これは、厚生労働省が報告を求める結核集団感染に該当し、本日、国に報告しましたので、その概要をお知らせします。

なお、発病者及び感染者は、適切な治療を受けており、医療機関も感染防止に努めていますので、今後、新たな感染が広がる可能性は想定されません。

本報道提供は、市民の皆様への結核に対する注意喚起を目的としております。

つきましては、患者等の人権の尊重には御配慮いただきますようお願いいたします。

1 発病者・感染者の状況（平成 26 年 12 月 8 日現在）

（人）

区 分	入院患者	職員等	計
発病者	3	0	3
感染者	0	8	8

※ 発病者 3 名のうち、1 名は市外の専門医療機関にて治療中であり、快方に向かっています。他 2 名は市外の専門医療機関で治療し、他者に感染させるおそれはありません。（重篤者等はありません。）

※ 感染者 8 名のうち、7 名は治療中、1 名は経過観察中

2 発病者の概要

（人）

	年 代	男 性	女 性
入院患者	80 歳代	0	1
	90 歳代	0	2

3 発生の経緯

- 平成 26 年 5 月 13 日 入院患者①（90 歳代、女性）が結核と診断
- 平成 26 年 7 月 7 日 入院患者②（80 歳代、女性）が結核と診断
- 平成 26 年 7 月～9 月 入院患者①に対する接触者健康診断を実施
- 平成 26 年 8 月～10 月 入院患者②に対する接触者健康診断を実施
- 平成 26 年 9 月 26 日 遺伝子検査の結果、入院患者①と入院患者②の結核菌が遺伝子的に同一のものと確認
- 平成 26 年 10 月 9 日 入院患者③（90 歳代、女性）が結核と診断
- 平成 26 年 11 月 28 日 遺伝子検査の結果、入院患者①、入院患者②、入院患者③の結核菌が全て遺伝子的に同一のものと確認

※入院患者③の接触者健康診断は、平成 26 年 12 月～平成 27 年 1 月に実施予定

4 市民の皆様へ

結核は全国的に減少傾向にあるものの、依然として多くの方が新たに結核を発症していますので、次のことに注意しましょう。

- ① 結核の初期症状は、風邪とよく似ています。2週間以上、咳や痰・発熱など症状が長引く場合は、医療機関を受診しましょう。
- ② 新規結核患者の約7割が70歳以上の高齢者ですが、若い世代でも発病する可能性がありますので、健康診断（胸部X線検査）を受診しましょう。
- ③ 乳児のBCG接種は必ず受けましょう。感染した場合の重症化を防ぐため、乳幼児は必ず生後1歳までに1回のBCG接種を受けましょう。

5 参考

【結核】

- 結核は、咳やくしゃみで飛び散った結核菌を吸い込むことにより感染します。
- 体内に入り込んだ結核菌が増え、病巣をつくりだした状態を、「発病」と言います。
- 発病する割合は、感染者のうち、約1～2割とされています。

【発病者】

- 結核菌が体内に増殖し、身体に何らかの異常や症状を引き起こす状態。咳や痰の中に多量の菌が排泄（排菌）される者は、入院治療となる。

【感染者】

- 結核菌が体内に入り潜伏しているが、自己免疫により何の症状も示していない（発病していない）状態。他人に感染を広げる可能性はない。

【集団感染】

- 同一感染源が、2家族以上にまたがり、20名以上に結核を感染させた場合をいう。ただし、発病者1名は6名の感染者に相当するとして感染者数を計算する。（厚生労働省通知）

※本件の場合：初発患者を除く発病者は2名、感染者が8名あるため、次の計算となる。

$$\text{発病者} 2 \text{名} \times 6 + \text{感染者} 8 \text{名} = 20 \text{名}$$

問合せ先

相模原市保健所 疾病対策課

電話 042-769-8260

担当 内田、新田